平成30年度都臨技精度管理調查報告会

TC-TG-HDL-C-LDL-C

慶應義塾大学病院 早川富夫

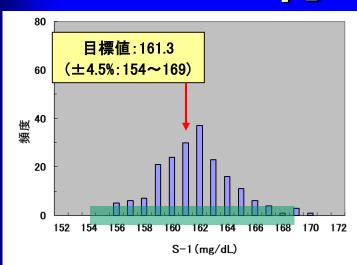
総コレステロール 【測定法の変遷】

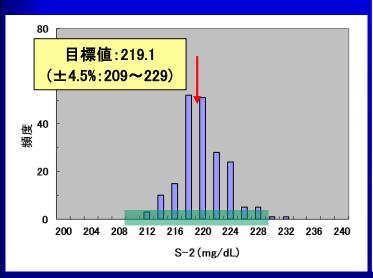
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
コレステロール酸化酵素法	168 (90.3%)	166 (90.2%)	167 (92.3%)	173 (91.1%)	180 (91.8%)
コレステロール脱水素酵素法	18 (9.7%)	18 (9.8%)	14 (7.7%)	17 (8.9%)	16 (8.2%)
その他の分類	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
未記入他	0	0	0	0	0
슴計	186	184	181	190	196

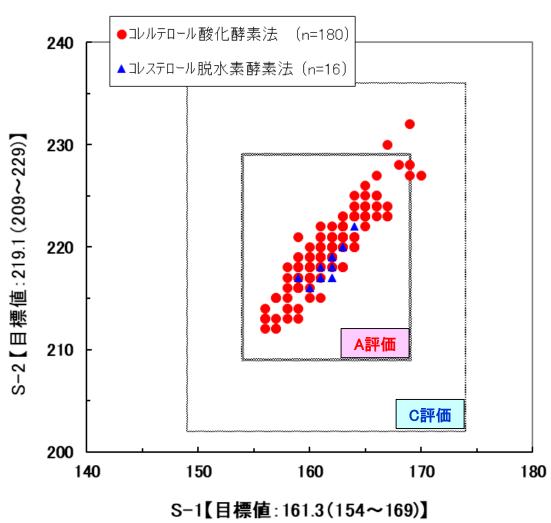
コレステロール酸化酵素法とコレステロール脱水素酵素法の 採用比率はあまり変化がない。



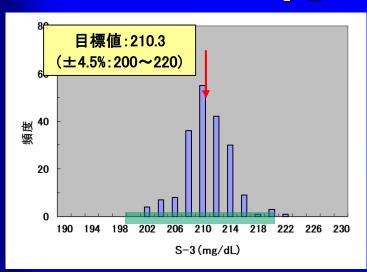
総コレステロール

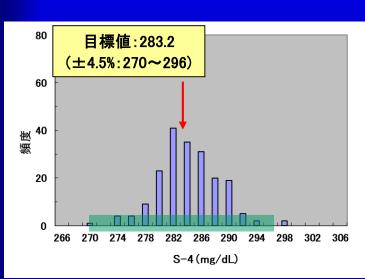


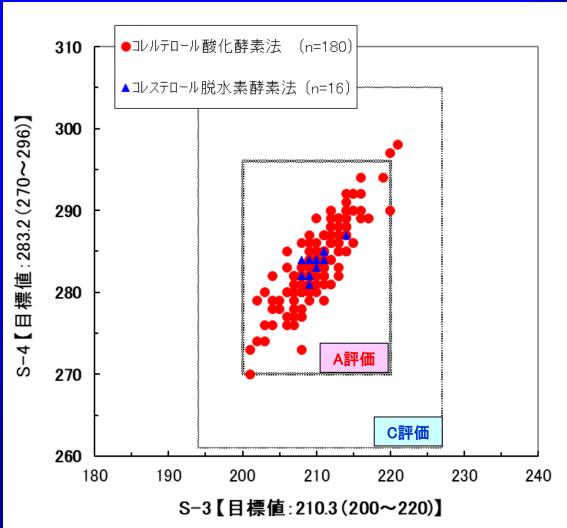




総コレステロール







総コレステロール 【基本統計量】

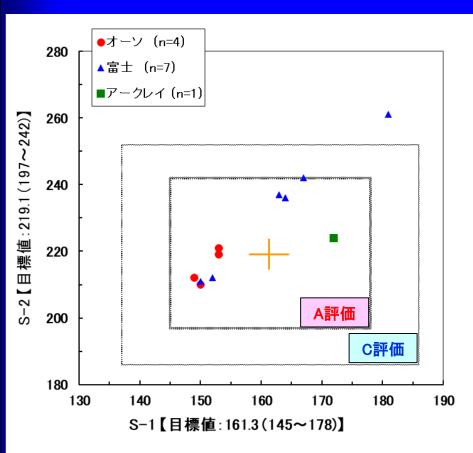
		N数	平均	SD	CV	最小	最大
S-1	コレステロール酸化酵素法	178	161.6	2.7	1.66	156	169
	コレステロール脱水素酵素法	16	161.7	1.2	0.74	159	164
S-2	コレステロール酸化酵素法	177	219.4	3.3	1.49	212	228
	コレステロール脱水素酵素法	16	218.2	1.6	0.71	216	222
S-3	コレステロール酸化酵素法	179	210.1	3.4	1.59	201	220
	コレステロール脱水素酵素法	16	209.9	1.5	0.71	208	214
S-4	コレステロール酸化酵素法	177	283.7	4.2	1.46	273	294
	コレステロール脱水素酵素法	16	283.5	1.6	0.56	281	287

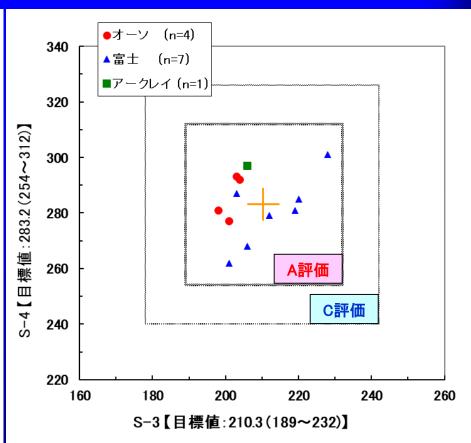
総コレステロール 【評価】

S-1	評価	D	Ç	В	A	В	Ç	D
	TC値	(14	19) (1	53) (1	54) (10	69) (1	70) (1	74)
	施設数	0	0	0	194	1	0	0
S-2	評価	D	С	В	Α	В	С	D
	TC値	(20	(20	08) (2	09) (22	29) (2	31) (2	36)
	施設数	0	0	0	193	1	1	0
S-3	評価	D	С	В	Α	В	С	D
	TC値	(19	(19	99) (2	00) (2	20) (2	21) (2	27)
	施設数	0	0	0	195	1	0	0 ,
S-4	評価	D	С	В	Α	В	C	D
	TC値	(26	61) (20	69) (2	70) (29	96) (2	98) (3	05)
	施設数	0	0	0	194	2	0	0
							- V	*

	S1, S2, S3, S4
A評価幅	4.5%
B評価幅	5.0%
C評価幅	7.5%

総コレステロール(ドライ) 【ツインプロット】





昨年と同様、全ての試料を評価した。

総コレステロール(ドライ) 【評価】

S-1	評価)	()		4	()		
	TC値		(13	37)	(14	15)	(17	78)	(18	36)	
	施設数	()	()	1	1	1		C)

S-2	評価	С))		4	())
	TC値		(18	36)	(19	97)	(24	12)	(25	52)	
	施設数	C)	1	1	()		

S-3	評価	D)		4)	Г)
	TC値		(17	78)	(18	39)	(23	32)	(24	12)	
	施設数	0		()	1	2	()	C)

S-4	評価	Г)	()	1	4)	[)
	TC値		(24	10)	(2	54)	(31	12)	(32	26)	
	施設数	()	()	1	2	()	(

	S1, S2, S3, S4
A評価幅	10.0%
B評価幅	
C評価幅	15.0%

総コレステロールの解析結果

- 1. 測定法の採用比率は、コレステロール酸化酵素法が92%、コレステロール脱水素酵素法が8%であった。
- 2. 全体のCVは極端値削除後ではS-1で1.60%、 S-2で 1.44%、S-3で1.47%、S-4で1.41%であり昨年とほぼ同等 であった。
- 3. 測定原理における差は認められなかった。
- 4. 目標値±4.5%を外れた施設はS-1⋅S-3で1施設、S-2⋅S-4で2施設であった。
- 5.ドライケムではS-1で1施設C評価、S-2で1施設D評価、 S-3-S-4においては全施設でA評価であった。

中性脂肪 【検量法の変遷】

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
JSCC/ReCCS基準	187_(100.0%) <u></u>	183 (98.9%)	176 (97.8%)	190 (99.5%)	195 (98.5%)
JSCC/ReCCS基準以外	0 (0.0%)	2 (1.1%)	4 (2.2%)	1 (0.5%)	3 (1.5%)
未記入他	0	0	0	0	
슴計	187	185	180	191	198

JSCC/ReCCS基準以外の施設が増加した?



中性脂肪 【検量法の変遷】

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
JSCC/ReCCS基準	187_(100.0%) <u></u>	183 (98.9%)	176 (97.8%)	190 (99.5%)	195 (98.5%)
JSCC/ReCCS基準以外	0 (0.0%)	2 (1.1%)	4 (2.2%)	1 (0.5%)	3 (1.5%)
未記入他	0	0	0	0	
슴計	187	185	180	191	198

JSCC/ReCCS基準以外の施設が増加した?

1

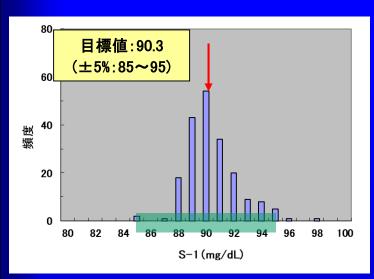
・LSIメディエンス: 脂質キャリブレータ

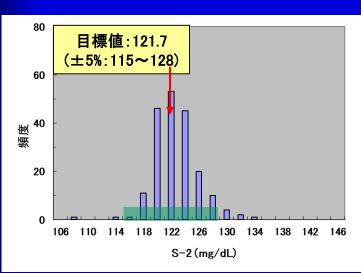
・協和メデックス: デタミナー標準血清脂質測定用

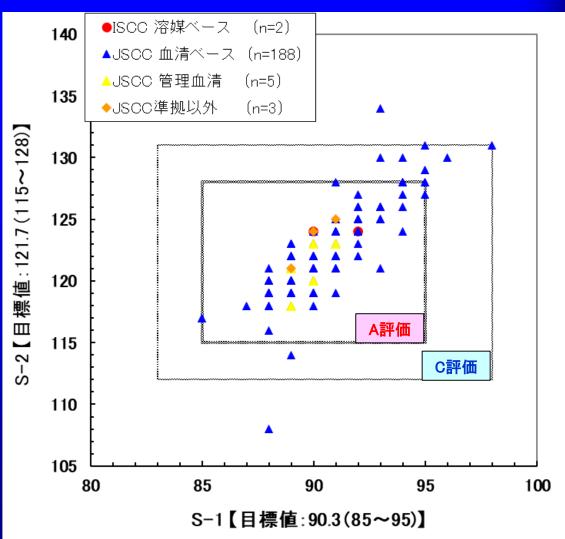
1

"JSCC/ReCCS基準」血清ベース標準液"

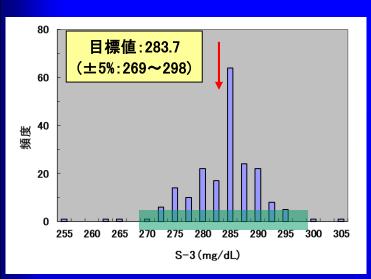
中性脂肪

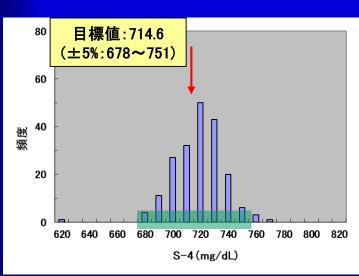


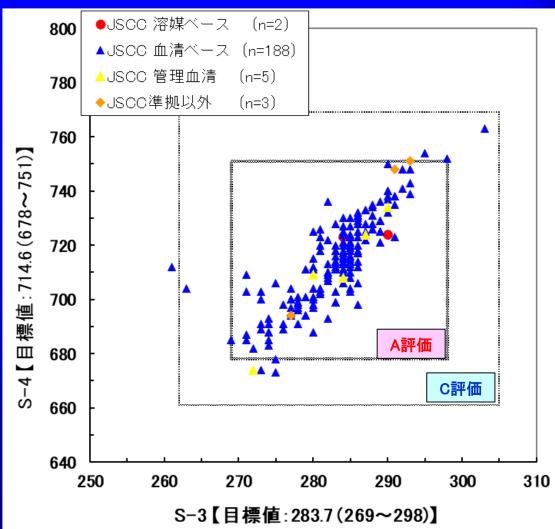




中性脂肪







中性脂肪 【基本統計量】

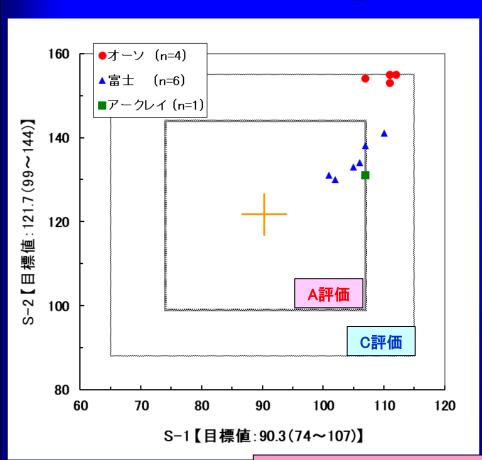
		N数	平均	SD	CV	最小	最大
S-1	JSCC/ReCCS基準_溶媒ベース水溶性標準液	2	91.0	1.4	1.55	90	92
	JSCC/ReCCS基準_血清ベース標準液	184	90.4	1.8	1.99	85	95
	JSCC/ReCCS基準_管理血清等(表示値)	5	89.8	0.8	0.93	89	91
	JSCC/ReCCS基準以外	3	90.0	1.0	1.11	89	91
S-2	JSCC/ReCCS基準_溶媒ベース水溶性標準液	2	124.0	0.0	0.00	124	124
	JSCC/ReCCS基準_血清ベース標準液	183	122.2	3.0	2.43	114	131
	JSCC/ReCCS基準_管理血清等(表示値)	5	121.0	2.1	1.75	118	123
	JSCC/ReCCS基準以外	3	123.3	2.1	1.69	121	125
S-3	JSCC/ReCCS基準_溶媒ベース水溶性標準液	2	287.0	4.2	1.48	284	290
	JSCC/ReCCS基準_血清ベース標準液	184	283.1	5.3	1.86	269	298
	JSCC/ReCCS基準_管理血清等(表示値)	5	282.6	7.0	2.47	272	290
	JSCC/ReCCS基準以外	3	287.0	8.7	3.04	277	293
S-4	JSCC/ReCCS基準_溶媒ベース水溶性標準液	2	723.5	0.7	0.10	723	724
	JSCC/ReCCS基準_血清ベース標準液	187	714.4	16.3	2.28	673	763
	JSCC/ReCCS基準_管理血清等(表示値)	5	709.8	22.8	3.21	674	734
	JSCC/ReCCS基準以外	3	731.0	32.1	4.39	694	751

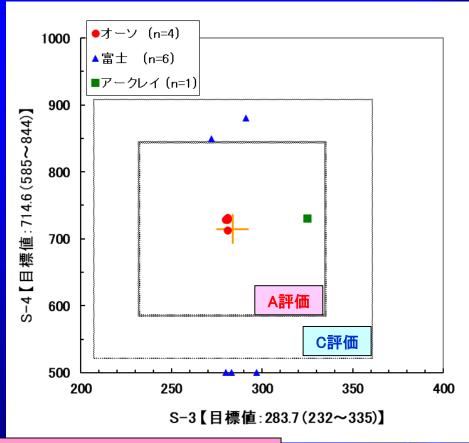
中性脂肪【評価】

S-1	評価	D	Ç	В	A	В	C	D
	TG値	(8	3)	(8	5) (9	5)	(9	(8)
	施設数	0	0		194		2	1
S-2	評価	D	С	В	Α	В	С	D
	TG値	(11	2)	(1	15) (1	28)	(1	31)
	施設数	1	1		186		6	3
S-3	評価	D	С	В	Α	В	С	D
	TG値	(26	52)	(2	69) (29	98)	(3	05)
	施設数	2	1		194		1	0 _/
S-4	評価	D	С	В	Α	В	C	D
	TG値	(66	51)	(6	78) (7	51)	(7	69)
	施設数	1	3		191		3	0
							_	

	S1, S2, S3, S4
A評価幅	5.0%
B評価幅	
C評価幅	7.5%

中性脂肪(ドライ)





S-1とS-2において目標値との乖離が大きかったため評価対象外とした。また、S-4では測定範囲外のため評価対象外とした。

中性脂肪(ドライ)【評価】

S-1	評価	D	(Α)	[)	対象外
	TG値	(35)	(74	4)	(10	07)	(11	15)		
	施設数	0	()	0		()	()	11

S-2	評価	D			1	١ .	()	[)	対象外
	TG値	(((88)		(99)		(144)		(155)		
	施設数	0	()	()	()	()	11

S-3	評価]))	1	4)	П)
	TG値		(20)7)	(23	(232)		(335)		31)	
	施設数	()	()	1	1	()	C)

S-4	評価	D		()	- 1	۸)	[)	対象外
	TG値		(52	21)	(585)		(844)		(908)			
	施設数	0)	()	()	()	()	11

	S1, S2, S3, S4
A評価幅	18.0%
B評価幅	
C評価幅	27.0%

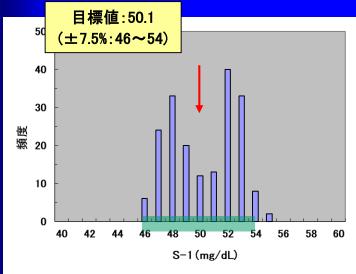
中性脂肪の解析結果

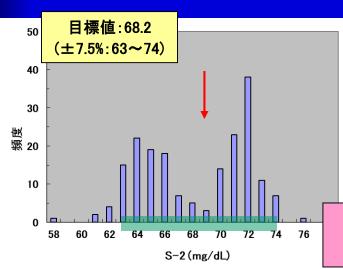
- 1. 測定法分類はJSCC/ReCCS(HECTEF) 基準か、否かで 区別した。
 - 今年はJSCC/ReCCS基準外が3施設であった。
 - (※ 登録間違えの可能性も考えられる。)
- 2.全体のCVは極端値削除後ではS-1で1.95%、S-2で2.40%、 S-3で1.88%、S-4で2.33%であった。
 - (昨年度のS-1:1.98%、S-2:1.62%、S-3:1.90%、S-4:1.65%と比較し、 大きくなった。)
- 3.目標値±5%を外れた施設はS-1で3施設、S-2で11施設、S-3で4施設、S-4で7施設あった。
- 4.ドライケムではS-3で全施設がA評価であったが、S-1・ S-2・S-4においては評価対象外とした。

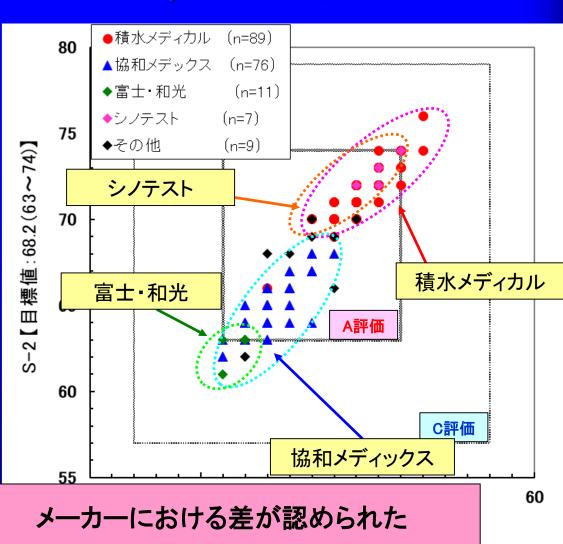
HDL-コレステロール 【測定法(試薬メーカー)の変遷】

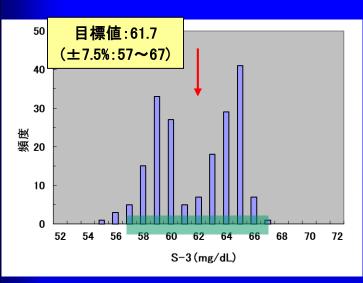
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
積水メディカル	91 (50.6%)	89 (49.4%)	81 (46.8%)	86 (47.0%)	89 (46.4%)
協和メデックス	64 (35.6%)	61 (33.9%)	72 (41.6%)	73 (39.9%)	76 (39.6%)
富士フイルム和光純薬株式会社	12 (6.7%)	13 (7.2%)	10 (5.8%)	12 (6.6%)	11 (5.7%)
デンカ生研	5 (2.8%)	6 (3.3%)	4 (2.3%)	3 (1.6%)	4 (2.1%)
シノテスト	2 (1.1%)	3 (1.7%)	2 (1.2%)	4 (2.2%)	7 (3.6%)
その他の分類	6 (3.3%)	8 (4.4%)	4 (2.3%)	5 (2.7%)	5 (2.6%)
未記入他	0	0	0	0	0
合計	180	180	173	183	192 /

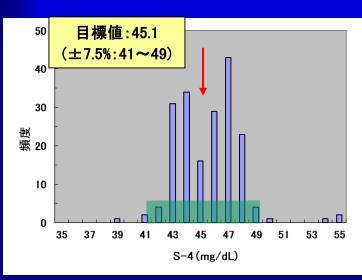
上位3社は昨年とほぼ同様であった。

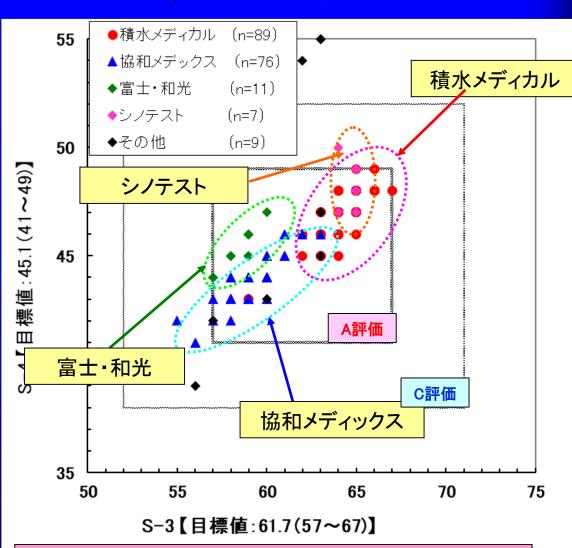












メーカーにおける差が認められた

【基本統計量】

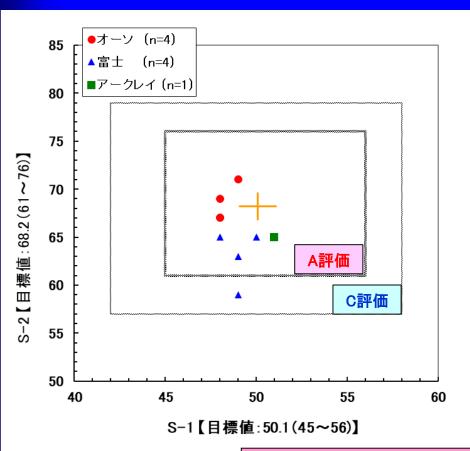
		N数	平均	SD	CV	最小	最大
S-1	積水メディカル株式会社	87	52.4	1.0	1.83	50	55
	協和メデックス株式会社	76	48.2	1.1	2.19	46	51
	富士フイルム和光純薬株式会社	11	46.9	0.8	1.77	46	49
	株式会社 シノテスト	7	53.0	0.6	1.09	52	54
S-2	積水メディカル株式会社	85	71.6	1.1	1.53	69	74
	協和メデックス株式会社	76	64.9	1.4	2.12	62	68
	富士フイルム和光純薬株式会社	10	62.5	0.8	1.36	61	63
	株式会社 シノテスト	7	72.7	0.8	1.04	72	74
S-3	積水メディカル株式会社	88	64.3	1.0	1.63	62	67
	協和メデックス株式会社	74	59.2	1.1	1.88	56	62
	富士フイルム和光純薬株式会社	11	58.5	0.9	1.60	57	, 60
	株式会社 シノテスト	7	64.7	0.5	0.75	64	65
S-4	積水メディカル株式会社	88	46.9	0.9	1.91	45	49
	協和メデックス株式会社	76	43.6	1.0	2.24	41	46
	富士フイルム和光純薬株式会社	11	45.4	0.9	2.04	44	47
	株式会社 シノテスト	7	48.3	1.1	2.30	47	50

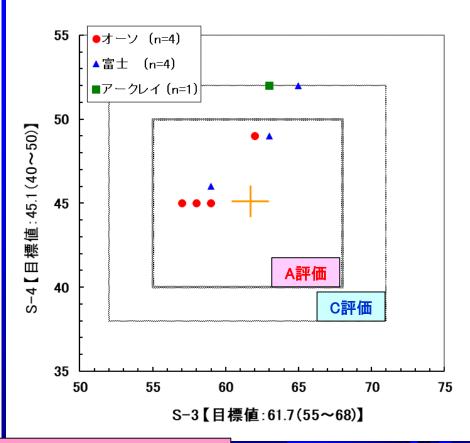
HDL-コレステロール (評価)

· ·			0		/ \				
	HDLC値	(4	2) (4	5) (4	(5	(5	56) (5	8)	
	施設数	0	0	0	189	2	0	0	
S-2	評価	D	С	В	Α	В	C	D	
	HDLC値	(5	(6	(6	i3) (7	4) (7	76) (7	9)	
	施設数	1	0	6	182	1	0	1	
S-3	評価	D	С	В	Α	В	C	D	
	HDLC値	(5	(5	(5)	57) (6	7) (6	38) (7	1)	
	施設数	0	0	4	188	0	0	0	
S-4	評価	D	С	В	Α	В	С	D	対象外
	HDLC値	(3	(4	(4	1) (4	9) (5	50) (5	2)	
	施設数	0	1	0	186	1	0	0	4

	S1, S2, S3, S4
A評価幅	7.5%
B評価幅	10.0%
C評価幅	15.0%

HDL-コレステロール(ドライ) 【ツインプロット】





昨年と同様、全ての試料を評価した。

HDL-コレステロール(ドライ)

【評価】

S-1	評価	С)	C		Α		С		D	
	HDLC値		(4	2)	(4	5)	(5	6)	(5	8)	
	施設数	C)	0		Ş	•	()	C)

S-2	評価)	()		4	()		
	HDLC値		(5	7)	(6	1)	(7	6)	(7	9)	
	施設数	()	1		8	3	()	()

S-3	評価	С)	()		4	()	C)
	HDLC値		(5	2)	(5	5)	(6	8)	(7	1)	
	施設数	C		C		8	3	()	1	

S-4	評価)	()	-	4	C)	Ε)
	HDLC値		(3	8)	(4	0)	(5	0)	(5	2)	
	施設数	()	()	-	7	2	2	(

	S1, S2, S3, S4
A評価幅	10.0%
B評価幅	
C評価幅	15.0%

HDLーコレステロールの解析結果

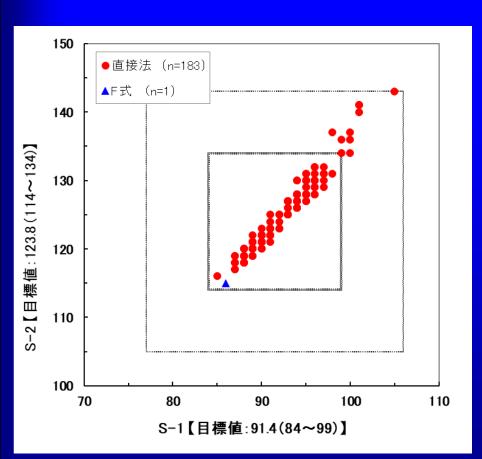
- 1.メーカー別の採用比率は、積水が46%、協和が40%、富士フィルム和光純薬が6%であった。
- 2.全体のCVは極端値削除後ではS-1で4.78%、S-2で5.52%、S-3で4.63%、S-4で4.21%であった。
- 3.系統的なメーカー差が見られた。
 - (※評価幅を従来より広くした。)
- 4.目標値±7.5%を外れた施設はS-1で2施設、S-2で9施設、S-3で4施設、S-4では2施設あり、また、極端に乖離した試薬を評価対象外とした(4施設)。
- 5.ドライケムではS-1で全施設がA評価、S-2で1施設がC評価、 S-3で1施設がD評価、S-4で2施設がC評価であった。

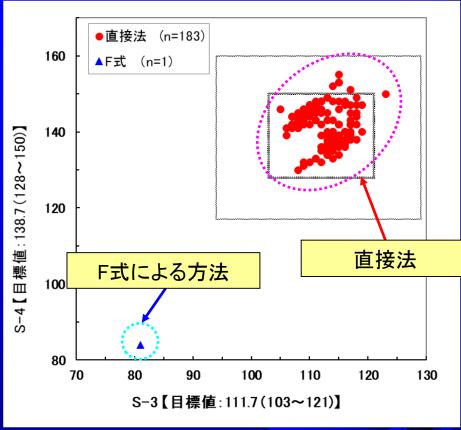
LDL-コレステロール 【測定法(試薬メーカー)の変遷】

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
積水メディカル	93 (50.8%)	92 (50.8%)	85 (49.1%)	90 (49.2%)	90 (47.1%)
協和メデックス	60 (32.8%)	55 (30.4%)	66 (38.2%)	66 (36.1%)	74 (38.7%)
富士フイルム和光純薬株式会社	10 (5.5%)	11 (6.1%)	8 (4.6%)	9 (4.9%)	8 (4.2%)
デンカ生研	6 (3.3%)	6 (3.3%)	4 (2.3%)	6 (3.3%)	7 (3.7%)
その他の直接法試薬	12 (6.6%)	14 (7.7%)	9 (5.2%)	8 (4.4%)	11 (5.8%)
計算(F式)によって算出	2 (1.1%)	3 (1.7%)	1 (0.6%)	4 (2.2%)	1 (0.5%)
未記入他	0	0	0	0	0
슴計	183	181	173	183	191

昨年とほぼ同様であった。

LDL-コレステロール 【方法別】

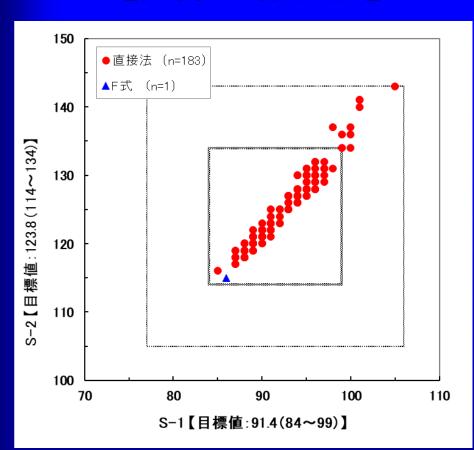


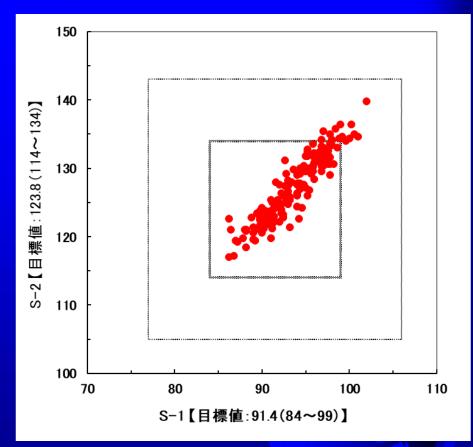


S-3とS-4において「F式による方法」で 大きな乖離が認められた

【実際の報告値】

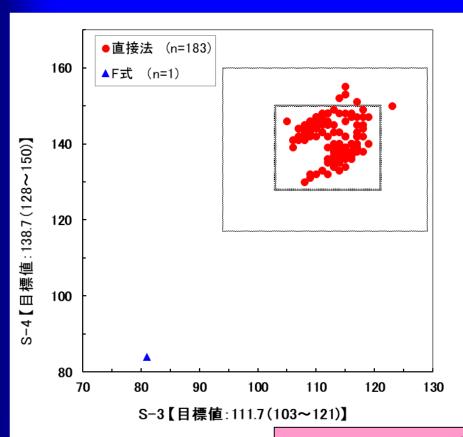
【Friedewald式算出值】

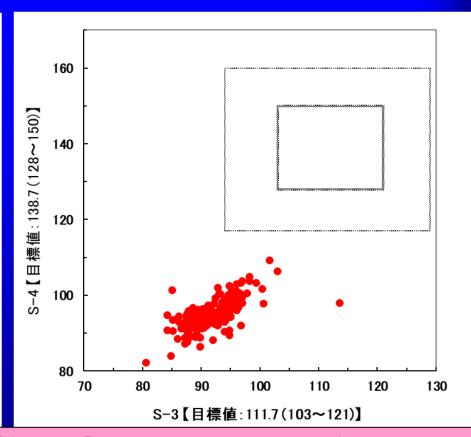




【実際の報告値】

「Friedewald式算出值」

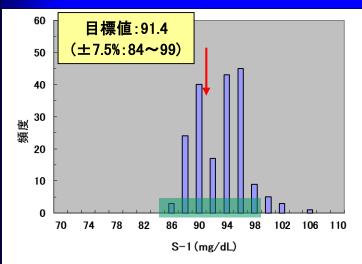


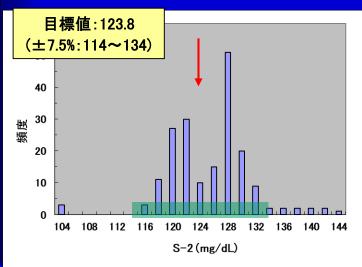


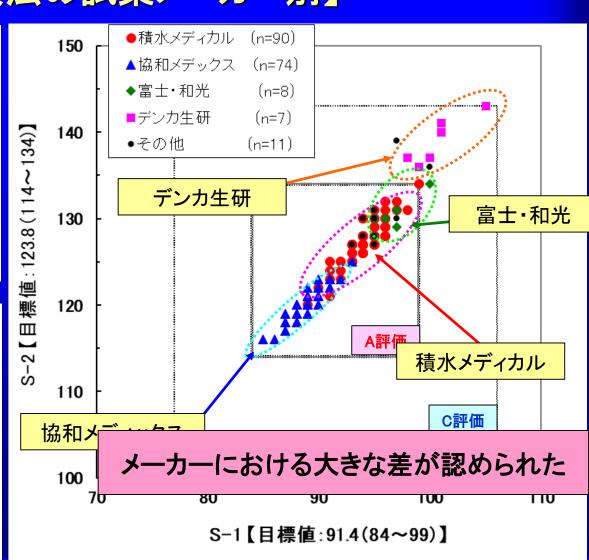
S-3とS-4において「直接法」と「F式による方法」で大きな乖離が認められた。

S-4のTGの目標値が714.6mg/dLのため、S-4のみF式での報告を評価対象外とした。 (S-3のTGの目標値は283.7mg/dLであるので評価した。)

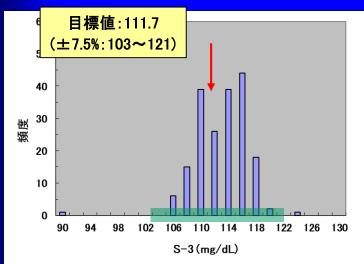
【直接法の試薬メーカー別】

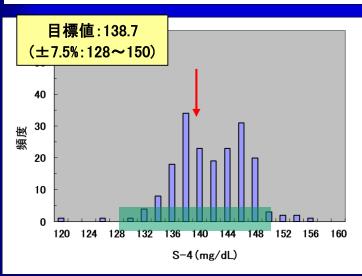


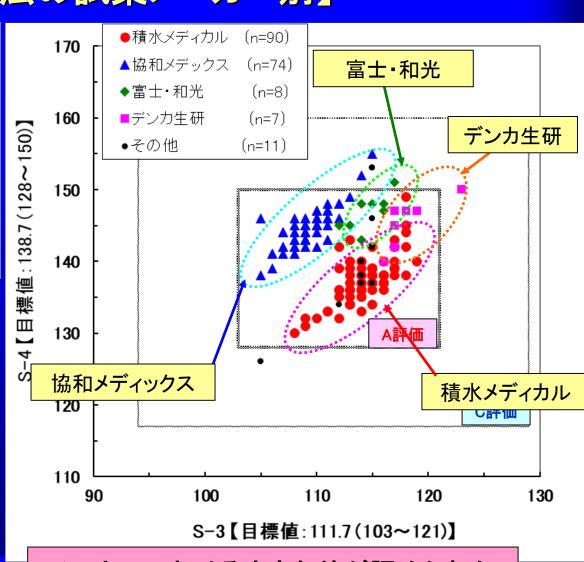




【直接法の試薬メーカー別】







メーカーにおける大きな差が認められた

【基本統計量】

		N数	平均	SD	CV	最小	最大
S-1	積水メディカル株式会社	87	94.3	1.4	1.54	90	98
	協和メデックス株式会社	74	89.1	1.4	1.59	85	93
	富士フイルム和光純薬株式会社	8	96.6	1.8	1.83	95	100
	デンカ生研株式会社	7	100.7	2.2	2.20	98	105
S-2	積水メディカル株式会社	87	127.6	2.2	1.73	121	134
	協和メデックス株式会社	74	120.3	1.8	1.50	116	125
	富士フイルム和光純薬株式会社	8	123.8	18.6	15.00	78	134
	デンカ生研株式会社	7	139.3	2.6	i .89	136	143
S-3	積水メディカル株式会社	89	114.5	2.0	1.72	109	119
	協和メデックス株式会社	74	109.5	1.9	1.71	105	/115
	富士フイルム和光純薬株式会社	8	114.6	1.7	1.47	112	7 117
	デンカ生研株式会社	7	118.1	2.3	1.98	116	123
S-4	積水メディカル株式会社	89	137.5	2.8	2.05	130	145
	協和メデックス株式会社	72	144.6	2.3	1.56	138	149
	富士フイルム和光純薬株式会社	8	146.9	2.5	1.69	143	151
	デンカ生研株式会社	7	145.4	3.4	2.34	140	150

LDL-コレステロール 【評価】

S-1	評価	D)	В		- 1	١ .	E	}	C		D)
	LDLC値		(7	7)	(8	2)	(8	4)	(9	9)	(10)1)	(10	6)	
	施設数	0		()	0		18	33	E	j			0)

S-2	評価	D)	()	E	}	- 1	١	E	3	C		С)
	LDLC値		(10)5)	(1)	11)	(1)	4)	(13	34)	(13	37)	(14	13)	
	施設数	3		()	C		17	78	4	1	5	5	C)

S-3	評価	D		C		E	3	F	4	E	3	(С)
	LDLC値		(9	4)	(10	00)	(10)3)	(12	21)	(12	23)	(12	29)	
	施設数	1		()	()	18	39	1		C)	C)

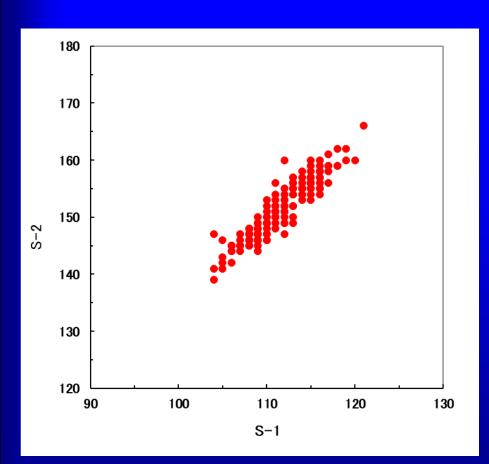
S-4	評価	D	С	В	Α	В	С	D	対象外
	LDLC値	(1)	17) (1	24) (1	28) (1	50) (1	53) (16	60)	
	施設数	0	0	1	184	4	1	0	7

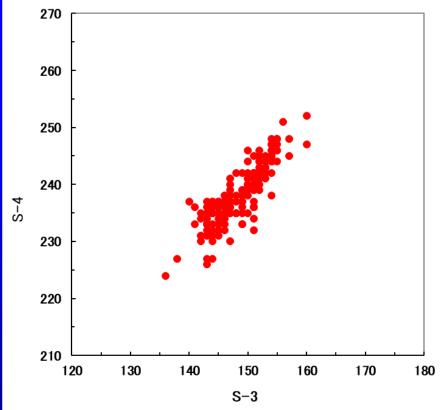
	S1, S2, S3, S4
A評価幅	7.5%
B評価幅	10.0%
C評価幅	15.0%

LDL-コレステロールの解析結果

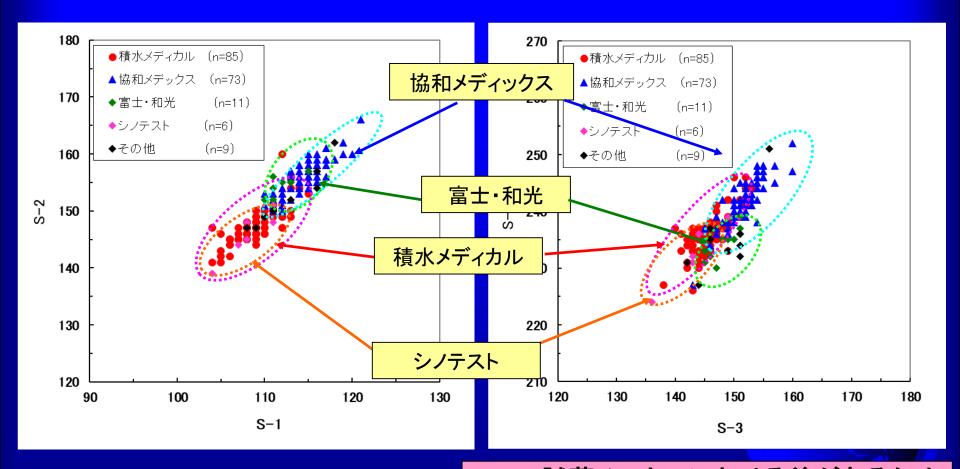
- 1. メーカー別の採用比率は、積水が47%、協和が39%、富士フィルム和光純薬が4%であった。
- 2.全体のCVは極端値削除後ではS-1で3.70%、S-2で4.09%、S-3で2.88%、S-4で3.41%であった。 (昨年度のS-1:3.06%、S-2:3.61%、S-3:2.30%、S-4:2.50%と比較し、大きくなった。)
- 3.系統的なメーカー差が見られた。
 - (※評価幅を従来より広くした。)
- 4.目標値±7.5%を外れた施設はS-1で7施設、S-2で12施設、S-3では2施設、S-4では6施設あった。(また、S-4は中性脂肪の目標値が714.6mg/dLであったため、Friedewald式での算出施設は評価対象外とした。)

non-HDLコレステロール





non-HDLコレステロール 【HDLCの試薬メーカー別】



HDLC試薬メーカーにおける差があるため non-HDLCにおいても差が認められた

LDL-C, non-HDLCの施設間差比較

	-
$\overline{}$	$\boldsymbol{\frown}$

試料	N数	平均	SD	CV	最小	最大	差	除去数
S-1	189	92.5	3.4	3.70	85	101	16	1
S-2	186	125.2	5.1	4.09	115	141	26	4
S-3	189	112.5	3.2	2.88	105	119	14	2
S- 4	189	141.3	4.8	3.41	130	155	25	2

F式LDLC

試料	N数	平均	SD	CV	最小	最大	差	除去数
S-1	180	93.3	3.4	3.64	86	102	16	4
S-2	178	126.7	4.8	3.80	115	136	21	6
S-3	179	91.6	3.8	4.19	81	103	22	5
S-4	180	95.1	4.0	4.18	82	109	27	4

no			$\overline{}$	7
nΛ	n-	-		н

_C _	試料	N数	平均	SD	CV	最小	最大	差	除去数
	S-1	183	111.3	3.5	3.15	104	121	17	1
	S-2	181	151.1	5.1	3.38	139	162	23	3
	S-3	183	148.3	4.2	2.83	136	160	24	1,1
	S-4	181	238.0	4.9	2.04	224	248	24	3

LDLCと比較して、non-HDLCのCVは、 若干小さくなっていると思われる。